

穴埋め

答案用紙の空欄に書くこと。番号を間違えないように注意！

- [1] 商品交換において、社会の干渉を排除して、商品所持者たちは、自由・平等な私的所有者として [] 的に承認し合っている。

相互

- [2] 欲望が多様化すると、欲望の多様化に対応する具体的労働の多様化を、多数者の役割分担によって解決するようになる。このような労働の社会的な役割分担を社会的な [] と呼ぶ。

分業

- [3] 単に個人的なのではなく、社会の中で切り離されたプライベートな空間で、自己利得・自己責任で行なわれるのが [] 生産である。

私的

- [4] 貨幣の機能の中で、価値の大きさを測り、比べる際に役に立つ機能のことを [] 機能と呼ぶ。

価値尺度

- [5] 電子マネーの流通形態について、発行者に還流せずに、現金と同じように人手から人手へと持ち手変換する電子マネーを [] 式電子マネーという。

オープンループ

- [6] 資本主義的営利企業の中で、多数の資本家が結合しているような企業のことを [] 企業と言う。

会社

- [7] 流動資本に対して、機械設備、建物のように有用なものとしては全部役立っているが、一部分しか価値を移転しないような資本部分を [] 資本と呼ぶ。

固定

- [8] 労働の仕方が巧みであって、通常は on the job で体得した労働力の支出であるような労働を [] 労働と言う。

熟練

- [9] 【計算問題】一定期間について、市場での売上高が5000億円、貨幣の平均流通速度（取引流通速度）が10だった。この期間に必要な貨幣の数量は [] 円である。

500億

- [10] 【計算問題】もし一日当たり、また労働者一人当たりについて、新価値（付加価値）が2000円、労働力の価値が700円であるならば、剰余価値は [] 円である。

1300

論述

答案用紙の余白に書くこと。どの問題に答えているのか、必ず番号を書くこと。

- [A] 労働における構想の実現とは何か、具体例を挙げて説明せよ。

人間は労働において実際に生産する前に、未来を先取りして、自分の知識を応用して頭の中で生産している。しかる後に、頭の中の生産物を現実化しようとする。これが構想の実現である。例えば、〔具体例は省略〕

- [B] 資本主義的営利企業における労働時間の延長と労働強度の強化との関係について、具体例を挙げて説明せよ。

資本主義的営利企業は労働時間の延長と労働強度の強化とを同時に達成しようとする。しかし、ある点を超えると、一方では労働時間を延長すると、集中力が落ちて労働強度の強化が困難になり、また他方では労働強度を強化すると疲労がたまり労働時間の延長が困難になる。それでもなお、両者を同時に達

成しようとする、事故・労災・過労死・過労自殺などが生じてしまう。〔具体例は省略〕

[C] 預金通貨の仕組みを（どのような預金がどのようにして通貨として機能するのか、なぜに通貨として機能したと言えるのか）、具体例を挙げて説明せよ。

（以下、この模範解答では振替と言う場合には自行内の振替だけでなく他行への振替をも含む——この文言は解答には必要なし）。要求払預金は決済において口座間での振替を通じて通貨として機能している。なぜに通貨として機能したのかというと、債権者にとっては要求払の預金口座の残高はすぐに現金化できるものであり、口座間での振替が完了した時点で、現金が全く動くことなく、決済が完了したからである。〔具体例は省略〕